

## ご使用の前に

### デジタル表示設定器

#### PSE3※ACシリーズ

このたびはSMCデジタル表示設定器PSE3※ACシリーズをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。  
この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。お読みになった後も手元においてご使用ください。

本製品の取扱いに関する詳細な資料については、  
当社ホームページ(URL: <http://www.smcworld.com>)もしくは、  
お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
これらの事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO/IEC)、日本工業規格(JIS)およびその他の安全法規に加えて、必ず守ってください。

**注意:** 取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみが発生が想定されるもの。

**警告:** 取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

**危険:** 切迫した危険の状態、回避しない死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

図記号	図記号の意味
	禁止(してはならないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- #### ■取扱いについて
- 取扱説明書は、空気圧機器を使用した機械・装置の組立・操作・保守点検するがため、これらの機器に対して十分な知識と経験をお持ちのかたを対象にしています。  
組立・操作・保守点検の実施は、このかたに限定させていただきます。
  - 組立・操作・保守点検に当っては、取扱説明書をよく読んで内容を理解した上で実施してください。

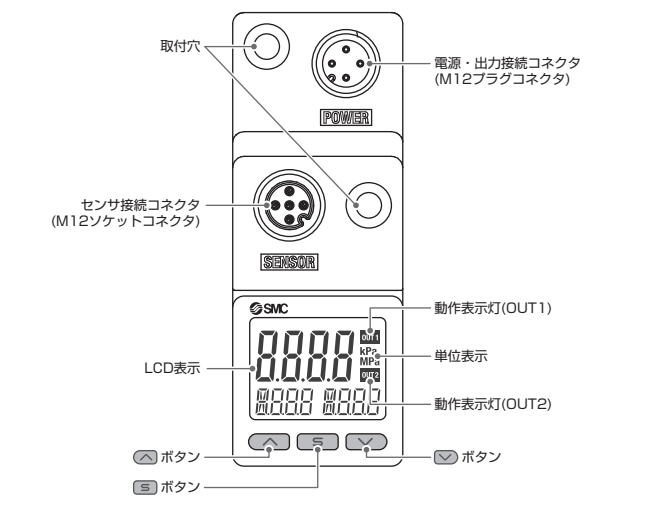
#### ■安全上のご注意

警告	
	■分解・改造(基板の組み替え含む)・修理は行わないこと けが、故障の恐れがあります。
	■仕様範囲を超えて使用しないこと 引火性もしくは人体に影響のあるガス・液体には使用しないでください。 仕様範囲を超えて使用すると、火災・誤動作・製品故障の原因となります。 仕様を確認の上、ご使用ください。
	■可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないこと 火災・爆発の恐れがあります。 本製品は、防爆構造ではありません。
	■静電気の帯電が問題になる場所には使用しないこと システム不良や故障の原因となります。
	■インターロック回路に使用する場合は ・別系統による(機械式の保護機能など)多重のインターロックを設けること ・正常に動作していることの点検を実施すること 動作による、事故の恐れがあります。
	■保守点検をするときは ・供給電源をオフにすること ・供給しているエアを止めて、配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから実施すること けがの恐れがあります。

#### 注意

- 通電中は端子、コネクタに触らないこと  
通電中に端子やコネクタに触ると、感電・誤動作・製品故障の恐れがあります。
- 保守点検完了後に適正な機能検査、漏れ検査を実施すること  
正常に機器が動作しない、漏れがあるなどの異常の場合は運転を停止してください。  
配管部以外からの漏れが発生した場合、製品自体が破損している場合があります。  
電源を切断し流体の供給を停止してください。  
漏れがある状態で絶対に流体を印刷しないでください。  
意図しない誤操作により、安全が確保できなくなる可能性があります。

## 製品各部の名称とはたらき



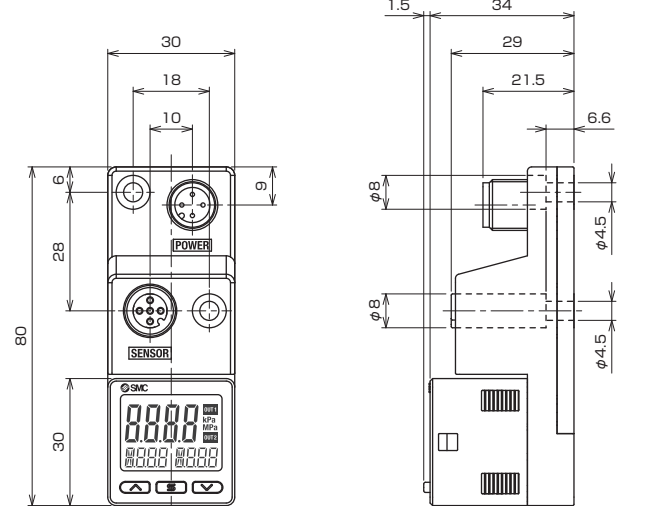
名称	機能
電源・出力接続コネクタ	電源・出力接続リード線を接続します。
センサ接続コネクタ	センサ部と接続するコネクタです。
取付穴	設置する際におねじを取付ける穴です。(M4相当)
動作表示灯	スイッチの動作状況を表示します。
LCD表示	現在の圧力状態、設定モードの状態、選択された表示単位、エラーコードを表示します。 上段の画面は常に赤色または緑色の単色で表示するが、出力に連動して緑色から赤色または赤色から緑色に切り替えるが、4種類の表示方法を選ぶことができます。 下段の画面は橙色単色表示となります。
ボタン	モードおよびON/OFF設定値を増加させます。
ボタン	モードおよびON/OFF設定値を減少させます。
ボタン	各モードの変更と設定値の確認に使用します。
単位表示	現在選択している単位を表示します。(表示単位がkPa、MPaの場合のみ)

## 取付け・設置

- #### ■設置方法
- 直接取付  
・製品をM4相当のおねじ(2本)で設置してください。  
・ねじはお客様にしてください。  
・ねじはお客様にてご用意願います。  
・ねじ込み穴径および深さは、下図を参照ください。  
・締付トルクは、0.7~0.8 Nmにて取付けてください。



・本体外形寸法図



#### ■配線方法

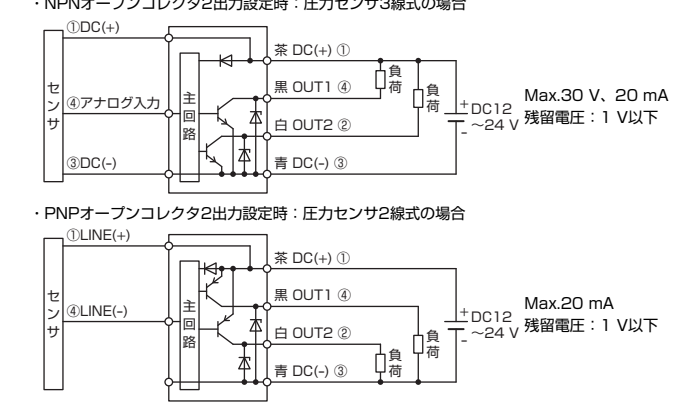
・接続作業は電源を切断した状態で行ってください。  
・配線は単独の配線経路をご使用ください。動力線や高圧線と同一配線経路を使用すると、ノイズによる誤作動の原因となります。  
・市販のスイッチング電源を使用する場合は、必ずFG端子に接地してください。市販のスイッチング電源に接続して使用する場合は、スイッチングノイズが軽減され、製品仕様を満足できなくなります。その場合は、スイッチング電源との間に、ライノイズフィルタ・フェライトなどのノイズフィルタを挿入するか、スイッチング電源よりリニア電源に変更してご使用ください。

- 接続について  
・本体側コネクタのキーとケーブル側コネクタのキーの向きを合わせ、垂直に挿入し、ケーブル側コネクタのロレット部を回します。  
・緩みがないか確認してください。

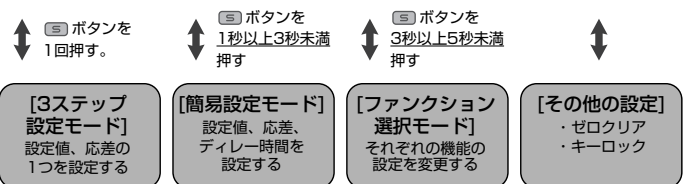
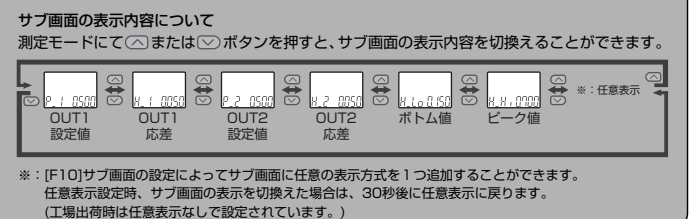
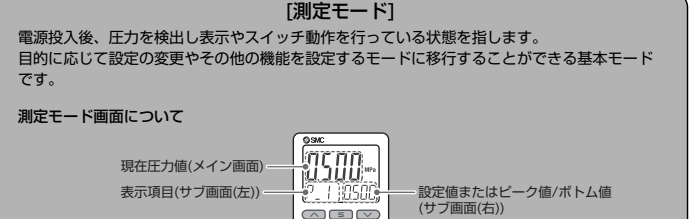
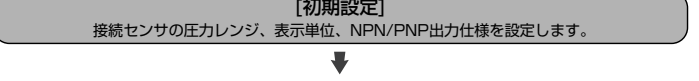
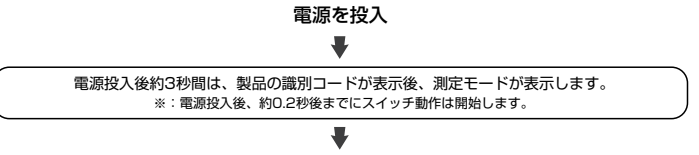
ピン番号	名称
1	DC(+)
2	OUT2
3	DC(-)
4	OUT1

ピン番号	名称
1	DC(+)
2	N.C.
3	DC(-)
4	センサ入力(1~5V、4~20 mA)
5	N.C.

#### ○内部回路と配線例

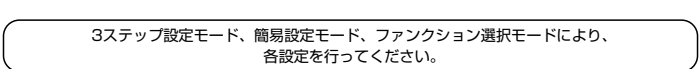
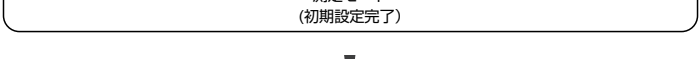
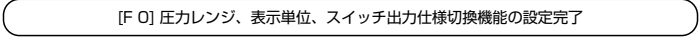
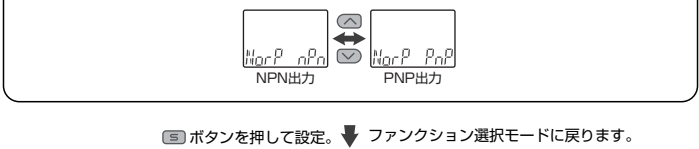
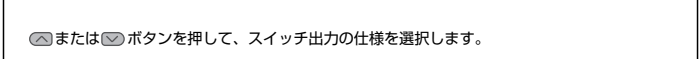
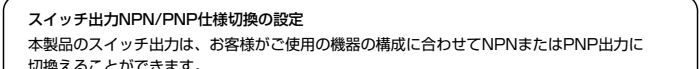
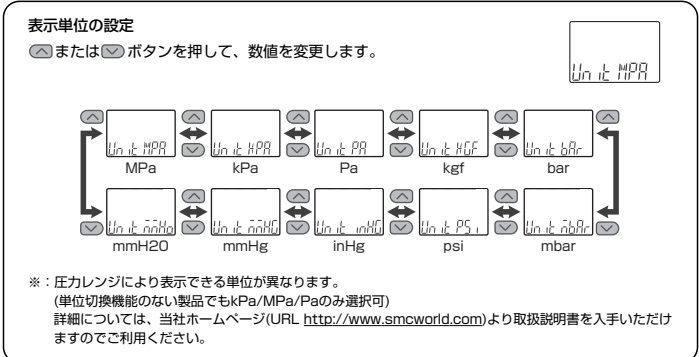
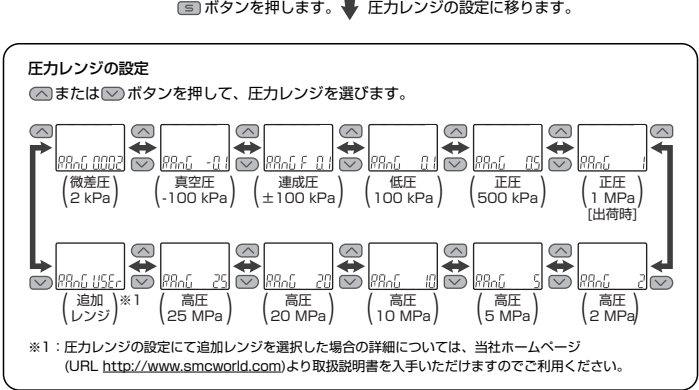
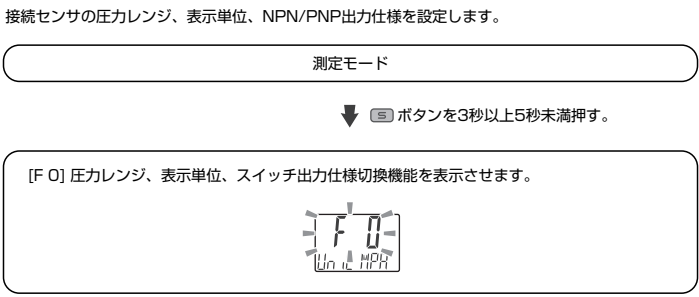


## 設定の概要



※：設定中も出力動作します。  
※：設定中に30秒間ボタン操作がないと表示が点滅します。(設定中の扉扉などによる設定値忘れ防止のため)  
※：3ステップ設定モード、簡易設定モード、ファンクション選択モードの設定は、相互に反映されます。

## 初期設定



## 3ステップ設定モード

[3ステップ設定モード(ヒステリシスモード)]  
3ステップ設定モードでは設定値(P<sub>1</sub>またはn<sub>1</sub>)と応差(H<sub>1</sub>)を変更することができます。  
あらかじめサブ画面を( )または( )ボタンで変更したい項目(設定値または応差)に合わせてください。  
設定値変更の場合は、以下の操作方法となります。応差の設定も同様に変更することができます。

- ①サブ画面に変更したい項目が表示されている状態で( )ボタンを1回押してください。サブ画面(右)の設定値が点滅します。
- ②( )または( )ボタンを押して、設定値を変更してください。  
( )ボタンで設定値の増加、( )ボタンで設定値の減少ができます。  
現在圧力値  
設定値  
設定値
- ③( )ボタンを同時に1秒以上長押しすると設定値が[- ]と表示され、自動的に設定値が現在圧力値と同値になります(スナップショット機能)。この後、( )、( )ボタンを押すことによる再調整も可能です。

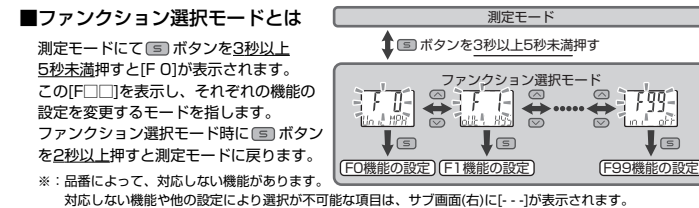
④( )ボタンを押すと設定が完了します。  
ウインドコンパレータモードは、設定した圧力範囲(P<sub>1</sub>LからP<sub>1</sub>Hまでの間)でスイッチが動作します。上記の設定方法と同様にP<sub>1</sub>L(スイッチ動作点下限)、P<sub>1</sub>H(スイッチ動作点上限)、WH<sub>1</sub>(応差)の設定を個別に行ってください。  
(反転出力を選択している場合は、n<sub>1</sub>Lとn<sub>1</sub>Hになります。)  
※：OUT<sub>2</sub>も同様に設定できます。(例：P<sub>2</sub>、H<sub>2</sub>等)  
※：正転/反転切換え、ヒステリシスモード/ウインドコンパレータモード切換えは、ファンクション選択モード [F 1] OUT<sub>1</sub>の設定または[F 2] OUT<sub>2</sub>の設定にて行います。

## 簡易設定モード

- ①測定モード時に( )ボタンを1秒以上3秒未満押してください。  
メイン画面に[SE]が表示されます。  
[SE]表示時にボタンを離すと、メイン画面に現在圧力値が表示され、サブ画面(左)に[P<sub>1</sub>]または[n<sub>1</sub>]とサブ画面(右)に設定値(点滅)が表示されます。
- ②( )または( )ボタンを押して、設定値を変更後、( )ボタンを押すと設定され、応差の設定に移ります。(スナップショット機能が使用できます。)
- ③( )または( )ボタンを押して、設定値を変更後、( )ボタンを押すと設定され、スイッチ出力のデレレー(遅れ)時間の設定に移ります。(スナップショット機能が使用できます。)
- ④( )または( )ボタンを押して、スイッチ出力のデレレー時間を選択します。  
デレレー時間の設定により、出力のチャタリングを防止することができます。
- ⑤( )ボタンを2秒以上押すと、設定が完了します。  
※：2秒未満の場合は、OUT<sub>2</sub>の設定に移ります。

ウインドコンパレータモードについても上記の設定方法と同様にP<sub>1</sub>L(スイッチ動作点下限)、P<sub>1</sub>H(スイッチ動作点上限)、WH<sub>1</sub>(応差)、dt<sub>1</sub>(デレレー(遅れ)時間の設定を行ってください。  
(反転出力を選択している場合は、n<sub>1</sub>Lとn<sub>1</sub>Hになります。)  
※：OUT<sub>2</sub>も同様に設定できます。

## ファンクション選択モード



#### ■工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように設定されています。  
本設定にて支障のない場合は、そのままご使用ください。

項目	工場出荷時の設定
接続センサレンジ	1 MPa
表示単位	単位仕様[無]または[M]：MPa 単位仕様[P]：psi
スイッチ出力仕様	NPN

●[F 1] OUT<sub>1</sub>の設定項目について

項目	工場出荷時の設定
出力モード	ヒステリシスモード
出力反転	正転出力
圧力の設定	0.500 MPa
応差	0.050 MPa
デレレー時間	1.0 ms以下
表示色	出力ON時：緑/出力OFF時：赤 (OUT <sub>1</sub> に連動)

#### ●[F 2] OUT<sub>2</sub>の設定項目について

[F 1] OUT<sub>1</sub>と同様の設定です。

#### ●その他の設定項目について

項目	工場出荷時の設定	項目	工場出荷時の設定
[F 3] デジタルフィルタの設定	0 ms	[F81] 暗証番号の入力の設定	OFF
[F 4] オートブリット機能の設定	使用しない	[F82] ライン名入力設定	AAAA
[F 5] 設定項目なし		[F90] 全ファンクションの設定	OFF
[F 6] 表示値微調整の設定	0%	[F96]	
[F10] サブ画面の設定	std(標準)	[F97]	
[F11] 表示分解能の設定	1000分割	[F98] 出力確認	しない(通常出力)
[F80] 省電力モードの設定	OFF	[F99] 出荷状態への復帰	OFF

設定を変更してご使用の場合は、当社ホームページ(URL: <http://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入力いただく、もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

## その他の設定

○ピーク値/ボトム値表示機能  
電源投入状態で最高(最低)圧力を検出して更新しています。  
測定モードにて( )または( )ボタンを押してサブ画面に表示させることができます。

○スナップショット機能  
現在の圧力値をスイッチ出力ON/OFF時に設定することができます。  
設定値と応差を設定する際、( )と( )ボタンを同時に1秒以上長押しするとサブ画面(右)の設定値が[- ]と表示され、自動的に現在の圧力値に応じた値となります。

○ゼロクリア機能  
測定モードにて( )と( )ボタンを同時に1秒以上押し続けると、メイン画面が[- ]と表示され、表示値がゼロリセットされます。自動的に測定モードに戻ります。

○キーロック機能  
上記設定を行う場合は、当社ホームページ(URL: <http://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入力いただく、もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

## 保守

停電や通電が強制的に遮断された場合の復帰方法  
設定に関しては、停電以前の状態に保持されています。  
本製品の出力状態は、基本的に状態に保持されていますが、ご使用の環境により変化する恐れがありますので、ご使用設備全体の安全を確認した後、操作してください。  
詳細な管理をしている場合は、ウォーミングアップ(約10~15分)を実施してください。

## トラブルシューティング

■エラー表示機能  
異常やエラーが発生したときに、誤りの箇所や種類を表示します。

エラー名称	エラー表示	内容	処置方法
過電流エラー	Er 1 Er 2	スイッチ出力の負荷電流が20 mA以上流れています。	電源を切断して、過電流が発生した出力の要因を除去し再度電源を投入してください。
残圧エラー	Er 3	ゼロクリア操作時、±7%F.S.(達成圧力は±3.5%F.S.)を超えた圧力が加えられています。ただし、1秒後に自動的に測定モードに復帰します。製品個体差により、±1%F.S.ゼロクリアの範囲が異なります。	加えられている圧力を大気圧状態にしてから再度ゼロクリア操作を行ってください。
加圧エラー	HHH	設定圧力範囲の上限を超えた圧力が加えられています。	加えられている圧力を設定圧力範囲に戻してください。
システムエラー	Er 0 Er 4 Er 6 Er 7 Er 8 Er 9	内部データエラーの場合、表示されます。	電源を切断し、再度電源を投入してください。 復帰しない場合は、当社での調査が必要となります。

上記処置方法を行っても復帰しない場合や、上記以外のエラー表示が発生した場合には、当社での調査が必要となります。  
トラブルシューティングに関する詳細なデータについては、当社ホームページ (URL: <http://www.smcworld.com>)より入力いただけます。

## 仕様/外形寸法図

各製品の仕様および外形寸法図に関する詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ (URL: <http://www.smcworld.com>)より入力いただけます。